

仕事をしながらがんを治す！～体に優しい放射線治療～

「突然のがん告知。青天の霹靂。そんな思いで仕事に穴は空けられない…。」
もし自分ががんだと知れたら…。会社には休んでじっと聞いておられたが、もし仕事しながらがん治療が出来ぬか…。今田はなんどかに是非知りたいとおもたて、体に優しい放射線治療についてお話をします。

Q がんだとと言われました。仕事は辞めないといけないでしょうか？

A がんの治療には大きく分けて手術、化学療法、放射線治療などがあります。手術や化学療法を併用する場合は入院が必要となることが多いですが、放射線治療は基本的に通院でも出来る治療です。仕事をしながらも十分可能です。

Q どんなスケジュールなのでしょうか？

A 治療の種類によってはがん治療本スケジュールは1日～1回、平日

のみの週5回、土日祝はお休み、治療時間は平均15分程度です。治療期間も病気や照射方法により様々で、1日から数日で終わるものから2か月近くかかるものまであります。

Q 副作用が強いのですか？

A 抗がん剤と一緒に放射線治療は基本的に放射線を当てるといふにしか副作用は出ません。また副作用を少なくするための様々な照射技術、照射方法が開発されてきました。例えば放射線を当てるといふにはしっかりと切って切った大切な部位に照射するといふことで、治療の強度を可減らすために照射線を当てる

Q 放射線治療して仕事を行くと周りの人々に影響があるのではないか？

A 放射線を出す線源を体内に入れられる治療の場合は線源から微量の放射線が出ますので一定の期間は周りの人々に影響がありますが、通常の放射線治療で用いるX線や電子線といった放射線は体内に残るところのことがあります。したがつて職場でも家でも周りの人々に影響を与えるところの人はおつまません。

A 放射線を当てる場所に関係がないものは放射線宿酔（気分が悪い、疲れやすいなど）、皮膚炎（口焼けのような症状）、骨髄抑制（白血球などの血液の成分が減り感染しやすくなる）などです。他にせん頭部を治療すれば頭痛、脱毛など、胸部を治療すれば肺炎や食道炎（食べ物を飲み込んだときのひつかかり、違和感、痛み）、腹部を治療すれば下痢など治療する場所に応じた副作用の可能性があります。

いずれも症状に合わせた薬での治療すれば下痢など治療する場所に応じた副作用の可能性があります。

Q どんな副作用がありますか？

A 放射線を当てる場所に関係がないものは放射線宿酔（気分が悪い、疲れやすいなど）、皮膚炎（口焼けのような症状）、骨髄抑制（白血球などの血液の成分が減り感染しやすくなる）などです。他にせん頭部を治療すれば頭痛、脱毛など、胸部を治療すれば肺炎や食道炎（食べ物を飲み込んだときのひつかかり、違和感、痛み）、腹部を治療すれば下痢など治療する場所に応じた副作用の可能性があります。

今月の先生 林 昌秀



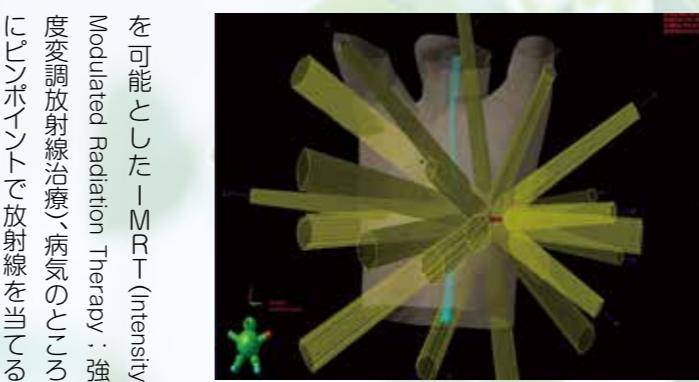
岐阜市民病院 放射線科

専門分野

- 放射線治療全般
- 役職 放射線治療部医長
- 主な資格・認定 日本医学放射線学会 放射線治療専門医
日本医学放射線学会 研修指導者
日本がん治療認定機構 がん治療認定医

厚生労働省 臨床研修指導医

- 卒業年、主な職歴
平成22年岐阜大学医学部医学科卒業
岐阜大学医学部附属病院 放射線治療科
木沢記念病院 放射線治療科
高山赤十字病院 放射線治療科



図：体幹部定位放射線治療の例 三次元的に色々な方向から放射線を当てます